

(国際医療福祉大学病院用)

当院にてご加療中の方へ

国際医療福祉大学ではレセプトデータを使ってより良い分析ができるための研究を実施しております。この研究は文部科学省科学研究費助成事業による多施設共同研究です。

【研究課題】

レセプトデータから Phenotyping を行なう各種方法の評価に関する多施設共同研究

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 国際医療福祉大学 医療情報部

研究責任者 平松達雄 医療情報部教授

担当業務 国際医療福祉大学におけるデータ匿名化および分析、全体取りまとめ

【共同研究機関】

国際医療福祉大学が主任研究施設で、下記の各共同研究機関は各大学の施設におけるデータ匿名化および分析を担当します。

東京大学	東京大学大学院医学系研究科医療情報学分野	大江和彦
東京大学	東京大学大学院医学系研究科医療情報学分野	平松達雄
九州大学	九州大学病院メディカルインフォメーションセンター	中島直樹
自治医科大学	自治医科大学附属病院医療情報部	興梠貴英
岡山大学	岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科	森田瑞樹
順天堂大学	順天堂大学医学部電子医療情報管理学	佐藤真理

【研究期間】

2021年7月1日～2022年3月31日

【対象となる方】

2014年1月1日～2020年8月31日に国際医療福祉大学病院を外来受診または入院された方。

【研究の意義】

健康保険診療に伴う保険請求データ（レセプトデータ）や包括評価制度データ（DPCデータ）を大規模に活用した分析が我が国においても活発になってきています。レセプトやDPCからは病気の詳細がわからないことが多く、詳細を推定して分析に使用する必要がしばしば生じ、そのため適切な推定方法を選択するための指針となりうる知見が必要となっています。なおこの詳細推定は、来院された方の診断や治療に直接的に用いるものではなく、病気の統計的な分析に使用するものになります。

【研究の目的】

実際のレセプトデータやDPCデータから、機械学習等の様々な推定方法を用いて様々な疾患状態の患者群を推定抽出します。その結果の正しさについて評価を行ない、抽出方法別、疾患状態別の複数視点による評価結果の分布や、抽出方法の良し悪しと疾患状態の関連の特徴と傾向等を明らかにします。

【研究の方法】

この研究は、国際医療福祉大学倫理委員会の承認を受け、国際医療福祉大学学長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療で生じたレセプト・DPCデータとカルテに記録されている血液検査や尿検査結果などの検査データを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。多施設での共同研究ですが、各参加大学それぞれで自施設のデータを用いて分析を行ない、その結果を持ち寄って全体のまとめおよび解釈を行ないますので、患者さんの個々のデータが各大学の外に出ることはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集されるデータは、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

患者さんのレセプト・DPCデータおよび検査結果は、分析する前に個人情報とは一切連結できないようにします。そのため、下記の同意撤回の期限以降に同意を取り消すこと及び個々の結果を患者さんにお伝えすることはできません。これらのデータは当部が管理する安全なサーバー室において厳重に保管します。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は下記の問い合わせ先まで2021年9月30日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、統計的にまとめた情報として学会等にて発表されます。収集したデータは個人情報とは連結できない状態のまま、厳重な管理のもと研究終了後10年間保存されます。個人情報とは連結できない状態でも個別のデータが国際医療福祉大学外に出ることはありません。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら下記へお尋ねください。

この研究に関する費用は、文部科研費 基盤C(一般)「レセプトデータからPhenotypingを行なう各種方法の評価」(平成29年度～令和3年度、研究代表者：平松達雄)から支出されています。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。なお、対象となる患者さんへの謝金は発生しませんので、予め御了承下さい。

2021年7月

【問い合わせ先】

国際医療福祉大学 医療情報部教授 平松達雄
住所：東京都港区赤坂4-1-26
電話：03-5574-3900